



出会いと感動のまち グランフロント大阪

大阪の玄関口に広がるまち「グランフロント大阪」は、水と緑あふれる自然の中、訪れる人、働く人、住む人、様々な人々が集い、憩い、働き、住まい、新しい出会いや感動が生まれるところです。ここには、知的創造拠点「ナレッジキャピタル」のほか、ショップ&レストラン、オフィス、ホテル、レジデンスからなり、うめきた広場やナレッジプラザ、水景、地上・屋上の庭園など豊かなパブリックスペースが至るところにちりばめられています。

持続的なまちの発展を支えるマネジメント組織 一般社団法人グランフロント大阪TMOとは

グランフロント大阪の一体的なまちの運営組織「一般社団法人グランフロント大阪TMO」は、2012年5月、うめきた先行開発区域開発事業者の出資により設立されました。グランフロント大阪TMOは、ナレッジキャピタル、ショップ&レストラン、オフィス、ホテル等からなる複合施設と、これらと調和のとれた豊かなパブリックスペースを活かし、グランフロント大阪に係る様々な人々とともにまちを育てていく参加型のまちづくりを推進しています。

【地区面積】

うめきた(区域全体) 約24ha
先行開発区域(グランフロント大阪) 約7ha

【用途別面積(延床面積)】

オフィス	約236,800㎡
商業施設	約80,700㎡
ナレッジキャピタル	約88,200㎡
ホテル・サービスレジデンス	約38,900㎡ (ホテル215室、サービスレジデンス57室)
分譲住宅	約65,400㎡

位置図



GRAND FRONT OSAKA TMO

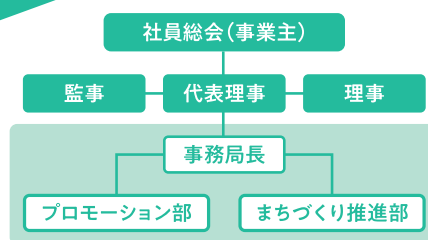
General Incorporated association

Basic Policy

取組み方針

- 公民連携による持続的かつ一体的なまちの運営による「賑わい創出」「質の高い都市景観形成」「独自のコミュニティ形成」
- 多様な人々の交流や感動との出会いを生み出す「体験・経験」の創出によるまちの付加価値向上を通じた梅田地区全体の持続的な発展

TMO組織体制



まちづくりの基本方針

- ① 世界に誇るゲートウェイづくり
- ② 賑わいとふれあいのまちづくり
- ③ 知的創造活動の拠点(ナレッジキャピタル)づくり
- ④ 公民連携のまちづくり
- ⑤ 水と緑あふれる環境づくり



情報発信・ プロモーション

イベントの開催や情報発信等により新たな発見があるまちづくりを推進します。

イベントプロモーション

大規模なイベントから日常の賑わい作りまで、まちを舞台に幅広く展開。まちの風物詩となるお祭りやイベントを実施、活気と賑わいのあるまちを育みます。このまちから新しい文化・芸術を発信していきます。

イベントプロモーション

グランフロント大阪TMOが主体となり、まちのブランドを高めるため様々なイベントを実施しています。クリスマスイベント「GrandWishChristmas」や30万球を超えるイルミネーションは、冬のグランフロント大阪を飾る風物詩となっています。



ART SCRAMBLE

若手アーティストを起用し、展示をサポートするアートプロジェクト。グランフロント大阪内にアート作品を展示し、訪れる人々の日常に、驚きと発見をお届けしていきます。



ミュージックバスカー

うめきたを音楽あふれるまちに!との思いから、うめきたから全国へ、さらに世界へ羽ばたくミュージシャンを発掘・応援する、グランフロント大阪とFM802による共同プロジェクト。選考オーディションを通過しライセンスを受けたストリートミュージシャンたちが、グランフロント大阪内で素敵な演奏を披露します。



オフィシャルパートナー

グランフロント大阪のまちのビジョン、まちづくりの方向性に賛同し、共に刺激し合い、お互いの価値向上を相乗的にスパイラルアップしていく企業・組織を「オフィシャルパートナー」としてパートナーシップを構築しています。



まちメディアの運用

イベント誘致、広告掲出を通じて、賑わいや良好な都市景観を創出、活動財源を確保。まちをひとつのメディアとして捉え、幅広いコミュニケーションを展開します。

スペースメディア

面積約1haの「うめきた広場」や「うめきたSHIPホール」、北館7階吹抜け空間「ナレッジプラザ」では、多彩なニーズに応えるスペースを整備しています。



OOH

バナー、フラッグ、壁面広告、柱巻き広告、デジタルサイネージなど、まちを網羅する20種類のメディアを整備しています。



まちのコミュニティ形成

まちと人、人と人との関係性を通じて、まちへの愛着を醸成。グランフロント大阪は、オフィス、商業、ホテル、ナレッジキャピタル等から構成される複合的なまちです。ここで働く人、住む人、訪れる人は、グランフロント大阪を育てていく共創パートナーです。

就業者イベント

「働きたいまち グランフロント大阪」として認知されることを目指し、就業者の皆さまが働いていて良かったと感じていただける環境づくりの一環で、就業者限定の参加型イベントを開催しています。



Web・SNSによる情報発信

公式Webサイト、SNSにて情報発信を行っています。

- ・グランフロント大阪公式HP <https://www.grandfront-osaka.jp/>
- ・グランフロント大阪公式Instagram(フォロワー:約1万人)
<https://www.instagram.com/grand.front.osaka/>
- ・グランフロント大阪公式Twitter(フォロワー:約7千人)
<https://twitter.com/GFOsaka>



Instagram



Twitter

まちづくりの推進

周辺地域と連携し、まちづくりのルール策定、交通マネジメントの推進等に取り組めます。



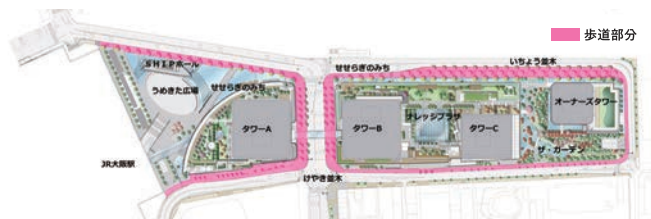
2

公共空間の管理・運営

周辺道路の維持管理・利活用を敷地内の屋外空間と一体的に実施。まちの公共空間を一体的に管理・運営することにより、質の高い公共空間の管理を行います。公民連携により先進的な取組みとして、道路占用許可の特例による歩道空間を活用したオープンカフェを実施しています。

歩道空間の維持管理

大阪市エリアマネジメント活動促進条例※1を活用。都市再生推進法人の指定を受けて都市利便増進協定を締結し、まち周辺の歩道空間一体において「維持保全」「美化・清掃」「放置自転車対策」「巡回・点検」を実施しています。



歩道・車道空間の利活用

都市再生特別措置法にもとづく道路占用許可の特例制度により歩道空間を利活用し、オープンカフェや広告板・バナー等の設置による良好な都市景観の創出並びにまちの日常の賑わいづくりを推進しています。掲出される広告板やバナー、OOHについては、公民連携による「グランフロント大阪街並み景観ガイドライン」※2にもとづいて運用しています。



※1 大阪市エリアマネジメント活動促進条例(大阪版BID制度)

全国初のBID(Business Improvement District)制度の適用により、その実施費用については、大阪市から補助金として交付を受けています。補助金の財源は、地方自治法にもとづく分担金として土地所有者から徴収しています。

※2 グランフロント大阪街並み景観ガイドライン

うめきた地区にふさわしい「都市景観形成」を図ることを第一義の目的とするとともに、公共空間を活用した適切な広告事業やオープンカフェ等の「機動的な事業運営」を目指します。広告事業等で得られる収益をTMOの活動原資に充当することでさらなる「エリアマネジメント活動の促進」を持続的に図っていきます。

交通サービス「UMEGLE」

梅田地区の交通環境の改善及び回遊性向上を支援。「うめだ、ぐるっと、まわる=UMEGLE(うめぐる)」をコンセプトに、うめぐるバス、うめぐるチャリ、うめぐるパーキングの事業を実施。梅田地区の回遊性向上、自動車流入抑制を実施し、「歩いて楽しいまちづくり」の展開を目指します。



うめぐるバス

梅田地区内を約30分で巡回する「うめぐるバス」を運営。広告ラッピングやアート作品としても使われています。

うめぐるチャリ

うめきた広場において15台のレンタサイクル「うめぐるチャリ」を常設。観光、ビジネスにと幅広く使われています。

うめぐるパーキング

グランフロント大阪周辺に、自動車流入抑制のためフリッジパーキング「うめぐるパーキング」として連携しています。

梅田地区全体の魅力向上

梅田地区の企業・住民と一体となり、地区の魅力向上に向けた活動を実施。グランフロント大阪は、梅田のまちづくりにおける重要な構成員です。梅田に拠点を構えるまちづくりの主要企業とともに手を携え、梅田全体の発展に力を注いでいます。夏の梅田ゆかた祭、冬のUMEDA MEETS HEARTといった梅田を代表するイベントのほか、訪れる人々への情報発信や防災力向上のためのワーキング活動(WG)を行っています。



梅田ゆかた祭

日本の伝統文化である浴衣を着てまちを楽しむという夏のライフスタイルを提案するエリアイベント。

UMEDA MEETS HEART

ハートをモチーフに梅田の魅力を発信するエリアイベント。

情報発信

梅田コネクト(HP)やSNSの運営・発信や大阪・梅田駅周辺マップを作成。

防災活動

梅田の防災力を向上するため、梅田に立地する企業の参加による啓発活動。

梅田でつながる。梅田がつながる。

UMEDACONNECT

梅田地区エリアマネジメント実践連絡会

梅田のまちづくりに関わる企業・団体が、協力しあいながらまちづくりを推進し、エリア全体の競争力、集客力、地域力を高め、梅田地区の持続的な発展を目指します。

(構成団体)

西日本旅客鉄道株式会社
阪急電鉄株式会社
阪神電気鉄道株式会社
一般社団法人グランフロント大阪 TMO
大阪市高速電気軌道株式会社
<https://umeda-connect.jp/>

Vision Statement

来るたび、意外な出会いに心が躍る。
あらたな感性と意欲が、次々と湧き出てくる。

ここは、世界中からヒト、コト、モノを迎え入れ、
一緒になって、あたらしい自分を創っていくまち。

ひとりひとりの変化や成長が重なり合って、どんどん大きくなっていく。
その先につながる、次の暮らしやこれからの社会が見えてくる。

うめきた広場の空に、ワクワクする明日が広がって見えたとき、
きっと誰もが、このまちを好きになり、誇りたくなる。

創り出そう、ともに。 グランフロント大阪

Towards the Next Era

まちびらき10周年を迎えー 次の時代に向けて

2023年4月、グランフロント大阪はまちびらき10周年を迎えます。この10年の間、日本、世界において、急激な社会経済の変化に見舞われました。グランフロント大阪は、大阪・関西のナンバーワンの立地、施設の内容、活動を誇り、このような変化を受けつつも、働く人、住む人、訪れる人に、夢と感動を与えてきました。梅田を取り巻く環境は、これからも大きく変化していきます。2023年3月JR大阪駅（うめきたエリア）が開業し、2024年夏頃グラングリーン大阪先行まちびらき、2025年には大阪・関西万博の開幕が控えています。グランフロント大阪TMOは、次の10年、20年後も、時代を先取りしながら、夢と感動を与えるまちづくりを推進していきます。

【沿革】

- 2002.7 都市再生緊急整備地域指定
- 2004.7 大阪駅北地区まちづくり基本計画(大阪市)
- 2006 先行開発区域A・B・Cブロック開発事業者募集(事業企画コンペ)
- 2008.2 都市再生特別地区・地区計画変更 都市計画決定
- 2009.11 梅田地区エリアマネジメント実践連絡会 設立
- 2012.5 一般社団法人グランフロント大阪TMO 設立
- 2013.4 まちびらき
- 2014.7 都市再生推進法人 指定
- 2015.3 国家戦略道路占用事業(国家戦略特区) 認定
- 2015.4 大阪市エリアマネジメント活動促進条例(大阪版BID制度) 適用

【これからの周辺動向】

- 2023.3 JR大阪駅(うめきたエリア)開業
- 2024夏頃 グラングリーン大阪 先行まちびらき
- 2025.4 大阪・関西万博 開幕
- 2025春頃 グラングリーン大阪 賃貸棟全面開業
- 2027春頃 グラングリーン大阪 公園全体開園
- 2027年度 グラングリーン大阪 全体まちびらき

【事業者】

NTT都市開発株式会社、NTT都市開発プライベート投資法人、株式会社大林組、オリックス不動産株式会社、関電不動産開発株式会社、ジャパンエクセレント投資法人、ジャパンリアルエステイト投資法人、積水ハウス株式会社、株式会社竹中工務店、中央日本土地建物株式会社、東京建物株式会社、日鉄興和不動産株式会社、日本プライムリアルティ投資法人、阪急電鉄株式会社、阪急阪神リート投資法人、三菱地所株式会社、三菱倉庫株式会社
(2023.4.1現在)

商号 一般社団法人グランフロント大阪TMO
GRAND FRONT OSAKA TMO General Incorporated association
設立 2012年5月23日設立
所在地 〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 タワー B 13階
TEL: 06-6372-6335
URL <https://www.grandfront-osaka.jp/project/tmo/>